

1 学校教育目標

自ら学び向上し合う生徒 心豊かで協力し合う生徒 健やかでたくましい生徒

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・向学の精神に満ちた学校 ・礼儀と豊かな心を育む学校 ・夢や志をもち、主体的に自分の進路を切り開く生徒を育む学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ楽しさを知り、主体的に学習に取り組む生徒 ・他人を思いやり、礼儀正しい生徒 ・夢や志をもち、実現に向けて根気強く努力する生徒
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じて学び続ける意欲のある教師 ・生徒のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師 ・指導力や教科等の専門性を高め、主体的な学びを支援する教師 ・保護者や地域、関係諸機関との連携を図り、生徒の健全育成に努める教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

本校の重点取組事項である「学力向上アクションプラン」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」という観点から、ICT機器を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めている。令和7年度区学力調査の結果では、平均通過率（全体）で区平均を上回ったが、成果目標である達成基準には1.3ポイント下回った。継続した学力向上の取組は一定程度成果があらわれた結果となったが、課題も見られた。ICT機器を「思考や表現のツール」として効果的に活用し、基礎学力の定着と主体的な学習による課題解決型の授業を取り入れ、学力向上を図っていく。「自分には良いところがある」と肯定的に回答した生徒は67%で昨年度より9ポイント上がった。自己肯定感を高める取組を一層推進していく。ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、すべての生徒にとって安心して学べる居場所づくり、絆づくりを実践し生徒が主役の学校を目指していく。

【前年度の成果】

- 生徒アンケートによると「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的な回答をした生徒が80%であった。
- 生徒アンケートによると「自分には良いところがある」の質問に肯定的な回答をした生徒が67%であった。
- 生徒アンケートによると「授業はわかりやすいか」の質問に肯定的な回答をした生徒が85.4%であった。80%を超えた教科が7教科であった。

【前年度の課題】

- 生徒がタブレット端末を活用して調べたり、他の生徒の意見・考えを参考にして自分の考えを整理したり、発表したりする授業改善
- 家庭学習習慣の定着、主体的に学習に取り組む指導
- 自己肯定感を高める取組の工夫
- 読書習慣の定着

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	キャリア教育の充実	○	○	○	○	○
3	人権教育の推進	○	○	○	○	○

5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
-------------------	--------------

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
------------	-----------------	-----------------	---------	-------------

区学力調査の目標値通過率の維持と向上	令和8年度調査 3科平均75%		自己評価の際に記入	
--------------------	--------------------	--	-----------	--

B 目標実現に向けた取組み

新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
-------	----------	--------------	-------------	-----------------------------	------------	-------------------------------	------	---------	-------------

1 継続	授業の充実	全学年 5教科	全授業	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に基づいた単元で生徒用タブレット端末を活用して課題解決学習を実施 ・管理職・教員相互の授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に年2回(7月・12月)授業アンケートを実施する。 ・授業観察 	タブレット端末を使って「自分で調べる」「自分の考えをまとめ、発表・表現することができる」と肯定的回答をした生徒80%以上	自己評価の際に記入			
---------	-------	------------	-----	---	---	--	-----------	--	--	--

2 継続	放課後補充 教室 (熱血!花 保塾)	全学年 5教科	月・火・ 木・金 15:20 ~16:00	【指導体制】学年教員・5教科 の教科担任 【取り組み内容、ねらい】授業 中に分からなかったことの質 問の場とする。また、朝学週確 認テスト未実施者や自主学习 ノートなどの宿題の未提出者 を対象とした指導の場とする。 【使用教材】各教科のノート・ プリント・ワーク	生徒に年2回 (7月・12月) 授業アンケ ートを実施す る。	「復習や課題 の完成に役立 った」と肯定的 回答をした生 徒80%以上
3 継続	A I ドリル 活用	全学年 5教科	火～金曜 日 始業前15 分	【指導体制】担任・国語科・ 数学科・英語科・社会科・ 理科 【取り組み内容・ねらい】 毎朝、学習内容の復習・確 認を行い、基礎学力の定着 を図る。	Qubena 活用リ ポート	週に1回以上利 用した生徒の 割合60%以上
			通年	家庭学習、長期休業日を含 めた活用		週に1回以上利 用した生徒の 割合50%以上
4 継続	夏季補充教 室	全学年 数・英で補 習の必要な 生徒を選出 各学年約15 名程度	7月22日 ~27日、 8月24、 25(7日 間) 各教科 50分	【指導体制】担任・教科担任・ 学年担当教員・学習支援ボラン ティア、地域の方 【取り組み内容、ねらい】当該 年度の前半期の内容でつまず きを解消する。少人数指導を行 う。主に4月からの内容の補充 問題を行う。【使用教材】プリ ント教材・ワーク等	振り返りアン ケート	「参加して、分 からないところ が分かった」 と肯定的回答 をした徒の割 合80%以上

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－2

キャリア教育の充実

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自分の将来についてより明確かつ具体的な目標を定め、前向きな学校生活を送ることができる。	アンケートで肯定的評価80%以上			自己評価の際に記入

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体験活動	生徒アンケートで肯定的評価 80%以上	全学年全生徒を対象にした職業講話(花保未来ラボ)や職業調べ、職業体験を実施し、働くことへの理解と意欲の向上を図る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
ボランティアマインド	生徒アンケートで肯定的評価 70%以上	地域などの行事にボランティアとして活動させることで地域への帰属意識を高める。			
学校行事	生徒アンケートで肯定的評価 80%以上	魚沼自然教室、修学旅行、運動会、文化祭などの学校行事を通して、主体的な活動への意欲と、目標をもって取り組む姿勢をもたせる。			

重点的な取組事項－3		人権教育の推進			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
他者への共感や思いやりをもち、居心地のいい学校・学級づくり	2 回目のWEBQUで学級生活満足群の全国値を全クラス上回る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度

ユニバーサルデザインを取り入れた授業	授業の焦点化・視覚化・共有化の3つの視点を取り入れ、分かる授業を実施	授業観察、アンケート、生徒・教員の聞き取り	自己評価の際に記入
ポジティブな行動支援の取組	生徒アンケートで自己肯定感について肯定評価70%以上	ポジティブな行動支援の取組を充実させることで、自己肯定感を高める。	
多様性の理解	生徒アンケートで肯定的評価80%以上	1年次車いす体験、2年次認知症サポーター養成講座、3年次高齢者声掛け訓練を実施する。これらの体験を通じて、障がい者や介護に関する理解を深め、心のバリアフリーを浸透させる。	

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）